

審査
ピックアップ
議案
第79号

菊川市一般会計補正予算（第3号）

令和5年度の事業を行うにあたり、当初の予算に過不足が生じたものなどについて、その理由などを確認し、課題や問題点などについても議論しました。

審査でこんな質問がされ、自由討議でこんな意見が出ました。

❶ 旧町部地区センター跡地を駐車場とするための整備に係る設計業務委託の内容と、駐車場整備プランをどのように考えているのか。

❷ 駐車場については2段階での整備を予定している。第1段階では、旧町部地区センター解体後、本庁舎の外壁改修工事、堀之内体育館災害対策本部棟新築工事時の駐車場として、解体後の現況を利用した仮の駐車場整備を行う。第2段階では、旧町部地区セ

ンター取壊し後の状況を確認し、今回の測量業務の成果により最終的な駐車場整備を進めていく。整備時期は、堀之内体育館及び災害対策本部棟新築工事終了後に実施する予定である。駐車場整備のための測量業務については、旧町部地区センターの敷地測量、現況を調べるもので、外壁改修工事、堀之内体育館災害対策本部棟新築工事時に使用する仮駐車場のレイアウトを決めるために必要なものである。この敷地測量は、最終的な駐車場整備にも使用するものとなる。

体育館を建て直す際には冷房も完備するということと、とても使い勝手がよくなると思う。多くの方が利用するということはとてもいいことだが、ますます駐車場の使い勝手が悪くなるのではないかと思う。現在の駐車場の内容とともに、将来を見据えた駐車場の数が必要だと思っている。



❸ 戸籍住民基本台帳総務費、コンビニ取扱量は倍になったが、その成果は。窓口利用件数が減った場合、窓口の委託人数が変わることはあるのか。

❹ 証明書等のコンビニ交付への移行が進んだ成果は、本庁市民課における昨年と今年

の4月から8月までの住民票、印鑑証明、所得課税証明の窓口取扱件数の合計数を比較すると、1ヶ月平均で2,012件から1,242件と770件減少し、窓口の混雑が緩和された。それにより、カウンター外側での来庁者への案内をより丁寧に行うことができ、必要な手続きへの誘導がスムーズに行えることから、市民サービスの向上につながった。委託人数は、マイナンバーカードの交付等の証明書交付以外の業務についても窓口で対応し係員につないでいるため、コンビニ交付により利用が減ったから単純に減員するという結論には至らないのが現状である。

コンビニ交付導入の際、人件費の減少も導入成果としてあったと思う。一度コンビニ交付の影響での人件費を含めた事業の検証を行う必要がある。